

ホエールウォッチング各種ツアー

羅臼海岸沖に位置する根室海峡はクジラの豊富な餌場で、この巨大な哺乳類はほぼ 1 年を通してこの水域に現れます。羅臼町を訪れた際には、ホエールウォッチングツアーでシャチ（4 月～7 月）やマッコウクジラ（7 月～9 月）などを観察することができます。

クジラが活動している印

ツアー船のクルーが水面を観察し、水面から垣間見えるクジラのひれや潮吹き穴から出てくるしぶき、クジラの「テールプリント」といったクジラの活動の印を探します。印が発見されると船長はすぐさま船の向きを変え、クジラを安全に観察できる距離まで近づけます。

クジラの潮吹き穴

クジラは水中で呼吸ができないため、定期的に水面へ上がってきて肺の中の空気を循環させなければなりません。種類により、クジラは数分から約 40 分ほどまで水中にもぐることができます。潮吹き穴を通して数回呼吸をすると、尾びれを上げて再び水中へ潜っていきます。潮吹き穴のしぶきが確認できたら、クジラの尾びれが水面を割る様子が見られる可能性があるということです。

クジラのテールプリント

クジラが水面下に消えてしまった後も、「テールプリント（尻尾の跡）」が残ります。正確にはフロックプリントと呼ばれ、尾びれが水を突いた後にわずかな時間だけ水面に残る滑らかでガラスのような波紋を指します。この「プリント」はクジラのサイズを示すヒントとなります。

ツアー詳細

ツアーは、通常、4 月下旬から 10 月に実施されています。根室海峡のツアーを実施しているホエールウォッチングの会社は複数あります。訪れる際は、各社の宣伝資料を確認するか、観光案内所で詳しい情報をご確認ください。